

株式会社BBH(3719)
個人投資家の皆様向け
2007年12月期決算説明資料

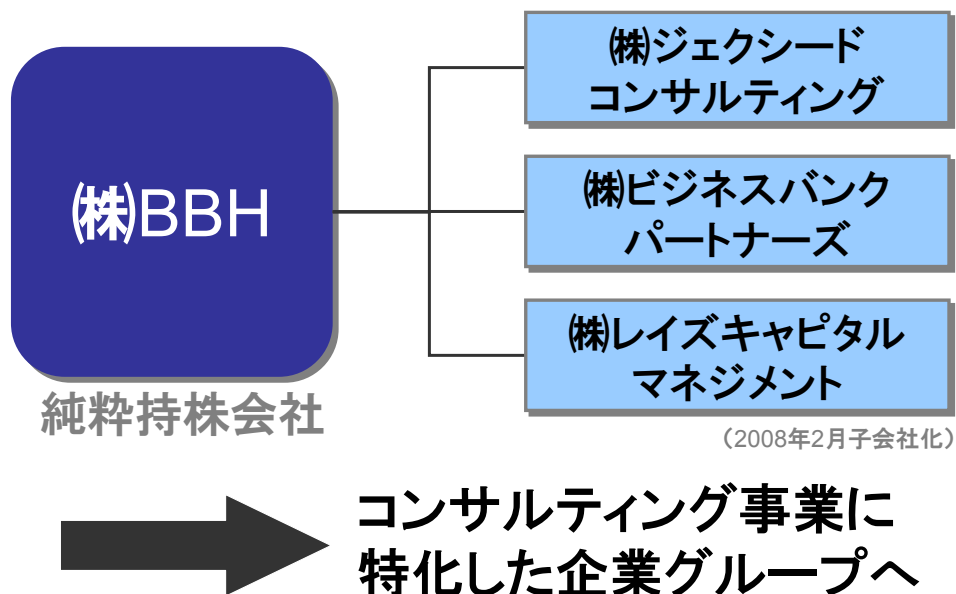
2008年3月28日



Copyright© 2008 BBH Co., Ltd.

1. 会社概要
2. 2007年12月期決算概要
3. 今後の見通し

1. 会社概要



株式会社ビジネスバンクコンサルティングは2007年7月に純粋持株会社株式会社BBHへ移行いたしました。

それに伴い、グループの再編を実行し、株式会社ジェクシードコンサルティング、株式会社ビジネスバンクパートナーズ、株式会社レイズキャピタルマネジメントの子会社3社体制になり、コンサルティング事業に特化した企業グループになりました。

株式会社BBHを純粋持株会社化することで、内部管理、IR機能など間接部門を切り離し、グループ子会社を統括することによって更なる企業価値向上を目指します。

これから各事業会社およびサービス内容についてご説明いたします。

ジェクシードコンサルティングとは

■ 監査/法律、業務、ITに精通し、プロジェクト経験豊富なコンサルタント集団

公認会計士、税理士、社会保険労務士等の
財務・会計・人事の専門家

監査経験

- 「経営と現場」双方の視点
- 「システムと業務」双方の視点
- コミュニケーション能力
- プロジェクトマネジメント能力

IT知識

業務知識

ERPなどの基幹システム構築経験者
内部統制構築経験者

業務改革プロジェクト経験者

ビジネス コンサルティング

- 内部統制関連支援
- 経営/業務改善、グループ経営、組織/人事改革
- 決算早期化、国際会計基準対応等

システム導入 コンサルティング

- ERPパッケージ導入
- 連結経営管理
- 業務改善から各種パッケージの導入まで

総合人材育成 アウトソーシングサービス (BLB)

- 人材育成制度コンサルティング
- コンビテンシードイノベーション構築
- eラーニング開発
- ASPサービス等

コーポレート アドバイザーサービス

- IPO(株式公開)支援
- M&A支援
- 企業再生支援

Copyright© 2008 BBH Co., Ltd.

Page: 5

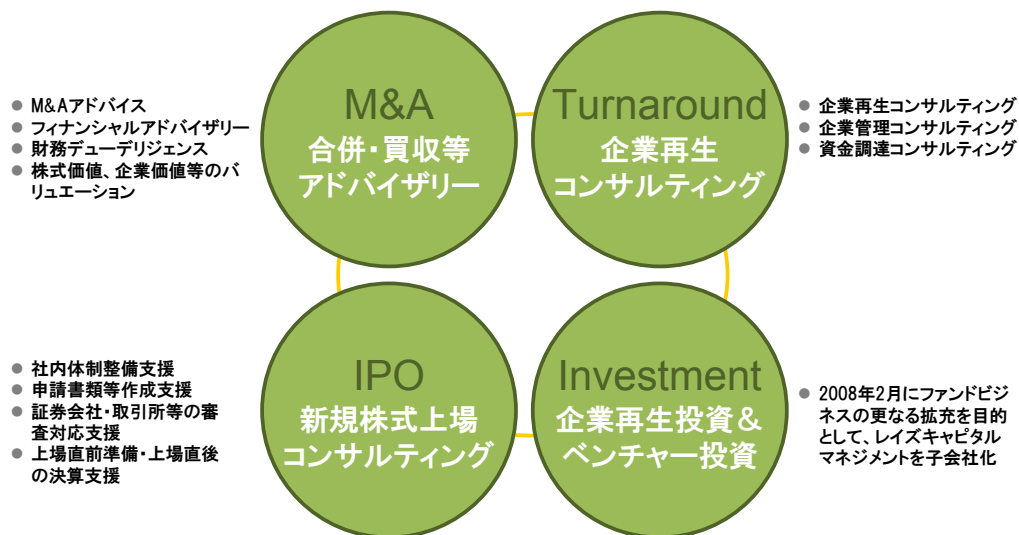
ジェクシードコンサルティングは、公認会計士等の財務・会計の専門家、ERPなど基幹システム構築経験者、業務改革プロジェクト経験者など、豊富なコンサルティング経験を持つ人材を有し、経営の根幹である戦略立案の分野からシステムの構築・運用に至るまで一環したサポートを実施し、お客様の業務改善に向けたトータルコンサルティングサービスを提供しています。

ジェクシードコンサルティングの具体的な事業内容は4つに分かれています。

現在主力となっているのは、ビジネスコンサルティングとシステム導入コンサルティングです。

システム導入コンサルティングでは、ERPパッケージ(財務会計、販売管理、在庫管理、生産管理、人事給与といった企業の基幹業務を司る情報システムを統合するためのソフトウェア)導入に豊富な実績を有しています。

■ 企業革新・再編・再生・IPOの豊富な実績を誇るプロフェッショナル集団



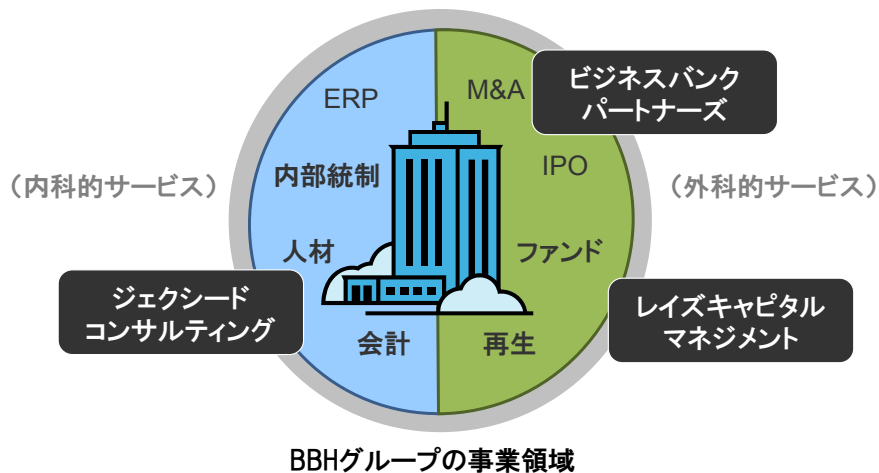
ビジネスバンクパートナーズはM&A、企業再生、資金調達、IPO等のアドバイスを通じて、お客様の「企業革新」の支援を行っています。

現状分析・評価、立案、フォローアップまでお客様にご満足いただけるワンストップソリューションを提供しています。

ファンドビジネスの更なる拡充を目的として、2008年2月にレイズキャピタルマネジメントを子会社化しました。

BBHグループの事業領域

- 顧客企業をあらゆる側面からバックアップするワンストップ・コンサルティング

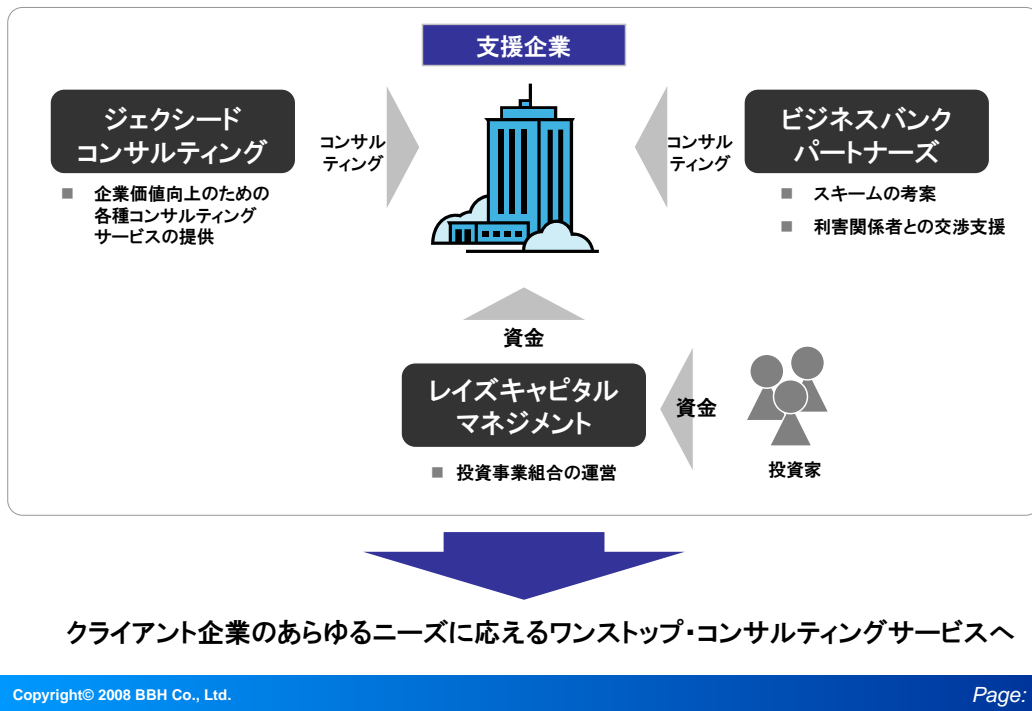


BBHグループの事業領域をまとめると、ジェクシードコンサルティングは顧客企業の業務改善にかかわるコンサルティングサービスでいわば、内科的サービスといえます。

それに対してビジネスバンクパートナーズ、レイズキャピタルマネジメントは、M&Aなど、企業の再生・再編にまつわるコンサルティングサービスでいわば外科的サービスといえます。

今回の事業再編で、顧客企業をあらゆる側面からワンストップでコンサルティングできる体制を整えました。

3社のコラボレーション例



3社のコラボレーションとしては、このような事例が考えられます。
再生支援の必要な企業の例でご説明します。

たとえば、ジェクシードコンサルティングでは、企業価値を向上させるための各種コンサルティングを行います。

その際、資金が必要な支援企業に対し、ビジネスバンクパートナーズでは、レイズキャピタルの投資事業組合を通じて投資家から資金を集めます。

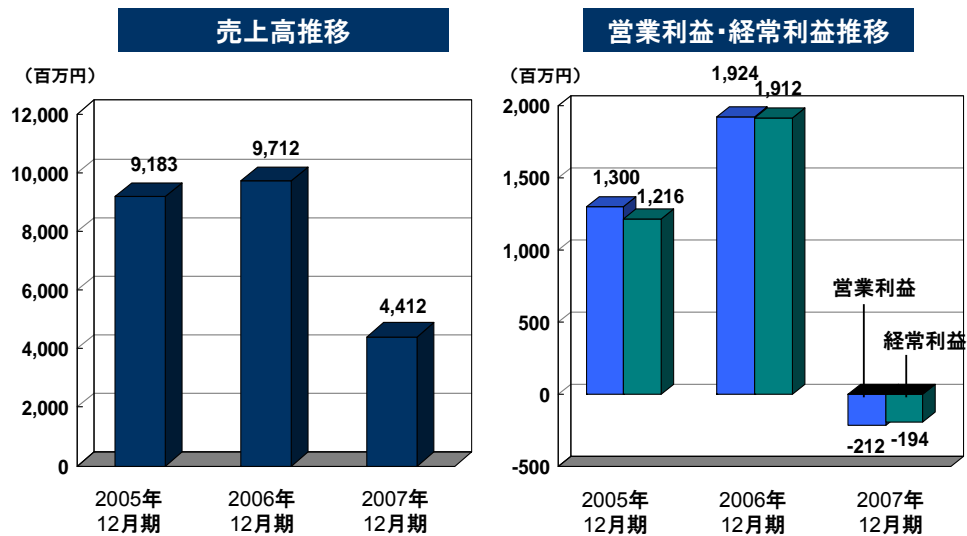
ビジネスバンクパートナーズでは、そのスキームを考案したり、利害関係者との交渉を支援するようなコンサルティングを行っています。

このように、支援企業がワンストップでサービスを受けられるコンサルティンググループを目指しています。

2. 2007年12月期決算概要

業績について

- 当社グループの組織再編・特別損失の計上等により、前期は減収・減益

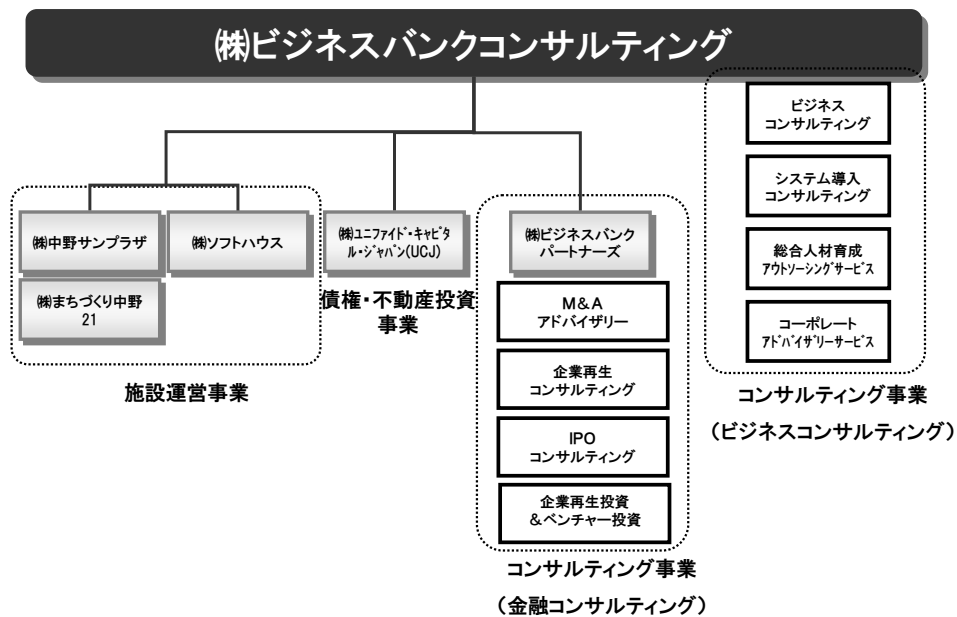


Copyright© 2008 BBH Co., Ltd.

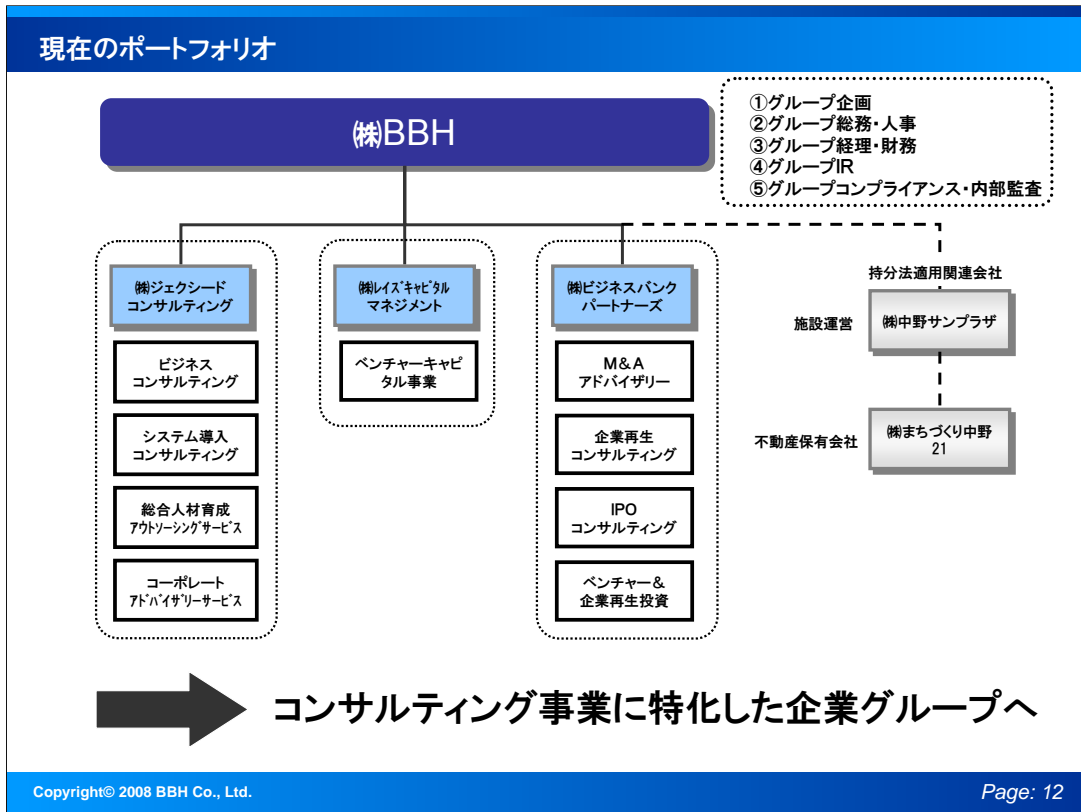
Page: 10

2007年12月期は減収減益となっていますが、コンサルティング事業以外の事業を売却したことによる売上減、それに伴う特別損失などが理由となっています。

詳細については次頁よりご説明いたします。



2007年6月までの当社の事業内容をご説明すると図のようになっております。
 2006年12月期時点では、連結子会社が17社あり、セグメントも施設運営事業、債権・不動産投資事業などコンサルティング以外の分野にまで拡大していました。



2007年7月に株式会社BBHとして純粋持株会社化し、これを機にセグメントをコンサルティング事業に特化しました。

その他の分野については、売却もしくは、持ち分法適用会社化するなど持株比率を下げしております。

現在100%子会社は、ジェクシードコンサルティング、ビジネスバンクパートナーズ、レイズキャピタルマネジメントの3社となっています。

グループの再構築

ビジネスモデルの確立

将来の収益拡大の基礎作り



目標は達成され、2008年12月期へ

事業の選択の集中など、これらの施策の狙いは、

- 1、グループの再構築
- 2、ビジネスモデルの確立
- 3、将来の収益拡大の基礎作り

でした。

その目標は達成され、今期はいよいよ株式会社BBHグループの種まきの時期であると考えております。

2007年12月期の施策

(株)ソフトハウス(SH)、(株)ユニファイド・キャピタル・ジャパン(UCJ)は外部売却、(株)中野サンブラザは連結子会社から持分法適用関連会社に。

第三者割当増資により、財務体質の改善を図り、実質無借金体質に。

訴訟問題への対処

今後の事業戦略

事業の集中と選択を行い、本業に特化した子会社3社の事業グループ構造へ。

強固な財務体質へ転換した上で、本業のコンサルティングサービスに特化。

早期の解決を図ると共に、コンプライアンスの強化を徹底。



事業・財務体質をスリム化した上で
今後のV字回復に備えた施策を行った

特に2007年12月期の決算のポイントは以下のようになります。

- 1、事業の集中と選択を行い、本業に特化した事業グループ構造にした
- 2、借入金を返済し、強固な財務体質に転換した
- 3、訴訟問題への対応を行った

事業・財務体質をスリム化した上で、今後のV字回復に備えた施策を行ってきました。

詳しい決算の内容は添付資料をご覧ください。

3. 今後の見通し

- 新生BBHグループの種まきの時期として、コンサルティング事業のサービスラインナップの充実と人材の育成に注力

	2007年12月期 連結	2008年12月期 連結(中間)	2008年12月期 連結(通期)
売上高 (百万円)	4,412	951	2,001
営業利益 (百万円)	▲ 212	▲ 19	45
経常利益 (百万円)	▲ 194	▲ 11	60
当期純利益 (百万円)	▲ 606	▲ 11	17
1株当たり当期純利益 (円)	▲ 120.08	▲ 1.50	2.35

2007年12月期の目標である「グループの再構築」「ビジネスモデルの確立」「将来の収益拡大の基礎作り」は達成されたと考えております。
今期は新生BBHグループの種まきの時期として、コンサルティング事業のサービスラインナップの拡充と人材育成に注力していきます。

- 過去の反省に基づき、本業に特化した形の成長を目指していく

コンサルティング力(人材)強化による内部成長

本業に直結したM&Aによる成長

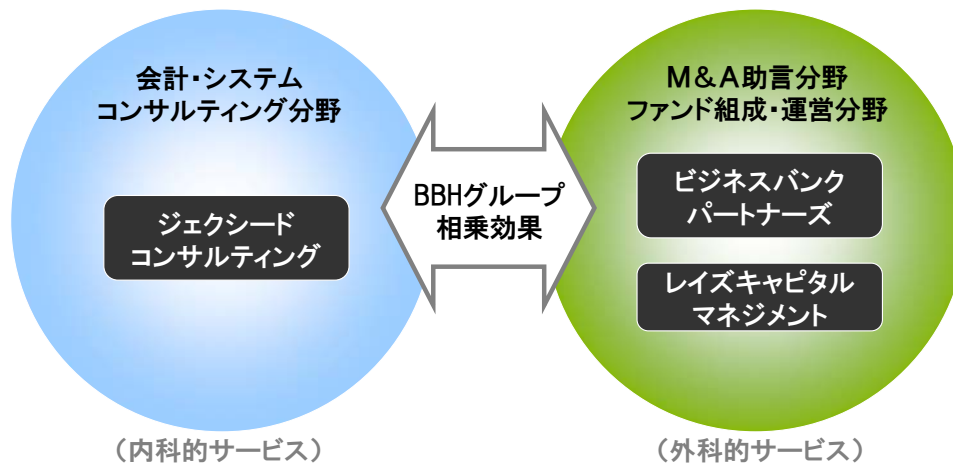
今後の戦略としては、本業のコンサルティング事業に特化した成長を目指していきます。

特にコンサルティング分野では高い専門性が求められることもあり、質の高いコンサルティングを提供するため最も優先すべきことは優秀なコンサルタントの採用ならびに社員の育成であると考えています。人材の強化による内部成長を目指していきます。

また、本業のコンサルティング事業に直結するようなシナジーのある企業とのM&Aなども必要に応じて行い、更なる成長を目指していきます。

目指す企業イメージ

- 3社の相乗効果で、規模・クオリティーの向上を図る
- ワンストップ・コンサルティングが可能なグループ企業を目指す



BBHグループが目指す企業のイメージとしては、グループ子会社3社が相乗効果を発揮した上で、規模・クオリティーの向上を図っていきたいと考えております。

また、BBHグループはワンストップで顧客企業を支援する企業グループを目指していく所存です。

今後共BBHグループのご支援を宜しくお願いいたします。

添付資料

2007年12月期 連結P/Lの概要

- 当社グループの組織再編、特別損失の計上等の一時的事由により、当期は減収・減益。

(単位:百万円)

	2006年12月期 連結	2007年12月期 連結	前期比
売上高	9,712	4,412	▲ 5,300
売上原価	5,672	3,521	▲ 2,151
売上総利益	4,040	891	▲ 3,149
販売費及び 一般管理費	2,116	1,103	▲ 1,013
営業利益	1,924	▲ 212	▲ 2,136
経常利益	1,912	▲ 194	▲ 2,106
特別利益	160	313	▲ 153
特別損失	▲ 158	▲ 620	▲ 462
当期純利益	5	▲ 606	▲ 611

- ・ 連結子会社の数17社→2社
- ・ 事業の集中と選択を行う

- ・ 持株会社化(7月)以前のグループ管理コスト及び一般管理費の負担大

- ・ 子会社(UCJ)株式売却益 285百万円

- ・ 子会社(SH)株式売却損 164百万円
- ・ 投資先企業の有価証券の下落による投資有価証券評価損 130百万円
- ・ 固定資産の見直しによる償却・減損 55百万円
- ・ 投資有価証券売却損 192百万円

※UCJ・・・株式会社ユニファイド・キャピタル・ジャパン

SH・・・株式会社ソフトハウス

2007年12月期 連結B/Sの概要(資産の部)

- (株)ユニファイド・キャピタル・ジャパン(UCJ)、(株)ソフトハウス(SH)を連結から除外したこと、(株)中野サンプルザ(NSP)の持分法適用会社化が影響し、資産は大幅に減少。

(単位:百万円)

科目	2006年12月期 連結	2007年12月期 連結	前期比
流動資産	6,896	1,864	▲ 5,032
現金及び預金	3,720	1,390	▲ 2,329
売掛金	649	265	▲ 383
営業投資有価証券	325	30	▲ 295
たな卸資産	1,733	2	▲ 1,731
購入債権	345	0	▲ 345
繰延税金資産	65	24	▲ 40
その他	284	182	▲ 102
貸倒引当金	▲ 229	▲ 31	197
固定資産	4,239	962	▲ 3,276
有形固定資産	759	11	▲ 748
無形固定資産	1,251	100	▲ 1,150
投資その他の資産	2,228	850	▲ 1,377
投資有価証券	1,676	764	▲ 911
その他	552	86	▲ 465
資産合計	11,135	2,826	▲ 8,308

・子会社(UCJ)を売却し、連結から除外したことにより
3,400百万円減少
・子会社(SH)を連結から除外、子会社(NSP)の持分法
適用会社への異動により 1,100百万円減少

・子会社(UCJ)の売却により施設運営事業の有形固定
資産の減少 670百万円
・債権不動産投資の投資有価証券の減少 860百万円
・のれんの減少 1,150百万円

2007年12月期 連結B/Sの概要(負債の部、純資産の部)

- 第三者割当増資による借入金返済、社債の減少により大幅な財務体質改善を実現。

(単位:百万円)

科目	2006年12月期 連結	2007年12月期 連結	前期比
流動負債	2,639	496	▲ 2,142
買掛金	276	79	▲ 197
短期借入金	399	37	▲ 361
一年内返済長期借入金	643	200	▲ 443
その他	1,319	180	▲ 1,139
固定負債	5,689	965	▲ 4,724
社債	1,800	700	▲ 1,100
長期借入金	2,984	250	▲ 2,734
その他	905	15	▲ 889
負債合計	8,329	1,462	▲ 6,866
株主資本	1,394	1,330	▲ 64
評価・換算差額等	▲ 109	1	110
新株予約権	10	33	22
少数株主持分	1,510	0	▲ 1,510
純資産合計	2,806	1,364	▲ 1,442
負債純資産合計	11,135	2,826	▲ 8,308

- ・施設運営事業における減少 430百万円
- ・債権不動産投資事業における減少 895百万円
- ・㈱BBHにおいて借入の返済 700百万円

- ・施設運営事業における長期借入金の減少 364百万円
- ・債権不動産投資事業の匿名組合出資預り金の減少594百万円
- ・債権不動産投資事業における長期借入金の減少 1,621百万円
- ・㈱BBHにおける借入の返済 800百万円
- ・社債の償還 1,100百万円

2007年12月期 連結キャッシュフロー計算書の概要

- 第三者割当増資により、借入金を返済を行い、財務体質を改善。

(単位:百万円)

	2006年12月期 連結	2007年12月期 連結
営業活動による キャッシュ・フロー	911	▲ 109
投資活動による キャッシュ・フロー	64	890
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 453	▲ 1,872
現金及び現金同等物 期末残高	3,159	1,347

2007年12月期 セグメント別概要

- コンサルティング事業へ経営資源を集約。それ以外の事業は売却を実施。
- コンサルティング事業においては、J-SOX対応支援コンサルティングを中心に堅調に推移したが、積極的な採用活動や人材育成により営業利益はマイナス。

(単位:百万円)

	2006年12月期 連結			2007年12月期 連結		
	売上高	営業費用	営業利益	売上高	営業費用	営業利益
コンサルティング事業	1,674	1,996	▲ 322	1,782	2,042	▲ 261
施設運営事業	5,005	4,760	244	2,575	2,499	73
債券・不動産投資事業	3,021	1,021	1,999	43	51	▲ 7
機器販売その他事業	27	24	3	14	9	4

- ・ 受注額・受注単価の伸びは堅調
- ・ 積極的な採用・人材教育による先行投資により固定費上昇

- ・ ㈱ソフトハウスを連結から除外
- ・ ㈱中野サンプラザの持分法適用会社化

- ・ ㈱ユニファイド・キャピタル・ジャパンを連結から除外

沿革

年月	事項
平成7年9月	(株)ビジネスバンクとしてシステムコンサルティング業務開始
平成7年11月	SAPジャパン(株)の製品に係る業務開始
平成9年7月	日本J.D.エドワーズ(株)(現日本ピープルソフト(株))の製品に係る業務開始
平成12年4月	商号を(株)ビジネスバンクコンサルティングに変更
平成15年9月	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成16年7月	(株)B.B.インキュベーション(現(株)ビジネスバンクパートナーズ)を設立
平成16年7月	(株)中野サンプラザを設立
平成16年9月	(株)中野サンプラザは、(株)まちづくり中野21を設立
平成16年10月	(株)ソフトハウスの株式を取得
平成17年10月	(株)ユニファイド・キャピタル・ジャパン(他25社、みなし取得日時点)の株式を取得
平成17年12月	連結子会社(株)ユニファイド・キャピタル・ジャパンは、UCJ債権回収(株)等(現・連結子会社)の株式を取得
平成18年6月	(株)B.B.インベストメント(現(株)ビジネスバンクパートナーズ)を設立
平成18年12月	(株)B.B.インキュベーションと(株)B.B.インベストメントが合併し、(株)ビジネスバンクパートナーズとなる。
平成19年1月	連結子会社(株)ユニファイド・キャピタル・ジャパンの株式を売却 連結子会社(株)ソフトハウスの株式を売却
平成19年7月	商号を(株)BBHIに変更 連結子会社(株)中野サンプラザが持分法適用関連会社へ異動
平成20年1月	(株)ジェクシードコンサルティングを設立。コンサルティング事業を承継。純粋持株会社制へ移行
平成20年2月	スター・キャピタル・パートナーズ(株)の株式を取得。同社が持分法適用関連会社へ (株)レイズキャピタルマネジメントの株式を取得。同社が連結子会社となる。

BBHについて

- BBHグループの純粋持株会社
- 内部管理、IR機能などを集約し、更なる企業価値向上を目指す

社名	株式会社BBH BBH Co., Ltd.
設立	1964年10月6日
資本金	7億7,866万円
所在地	〒163-0637 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル37F
代表取締役社長	田原 弘之
TEL	03-3348-8380(代表)
FAX	03-3348-8381
URL	http://www.bbank.co.jp
従業員数	6名

ジェクシードコンサルティングについて

- 会計監査や法律、業務、ITに精通した専門家集団によるコンサルティングサービスを提供
- 現在、内部統制支援サービスやERPシステム導入コンサルティングが好調

社名	株式会社ジェクシードコンサルティング Gexeed Consulting Co., Ltd.
設立	2007年7月2日
資本金	8,000万円
所在地	〒163-0637 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル37F
代表取締役社長	藤田 亨
TEL	03-3348-7220(代表)
FAX	03-3348-7221
URL	http://www.gexeed.co.jp
役員・職員数	92名
業務内容	ビジネスコンサルティング(業務改善、内部統制対応、決算早期化コンサルティングなど) システムコンサルティング(SAP・JDEdwardsなどERP導入) 総合人材育成アウトソーシングサービス コーポレートアドバイザーサービス

ビジネスバンクパートナーズについて

- M&A、企業再生、IPO、資金調達のアドバイス、ファンドの組成や投資事業を行う
- 財務戦略に関するコンサルティングから実施までの一貫したサービスを提供

社名	株式会社ビジネスバンクパートナーズ Business Bank Partners Co., Ltd.
設立	2004年7月28日
資本金	3,000万円
所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2-10-6 BPS SQUARE 4階
代表取締役社長	武田 大
TEL	03-3544-4775(代表)
FAX	03-3544-4779
URL	http://www.bbank.co.jp/group/bbp.html
役員・職員数	13名
業務内容	M&A(合併・買収等)アドバイザー 企業再生コンサルティング IPOコンサルティング 企業再生投資&ベンチャー投資

レイズキャピタルマネジメントについて

- 2008年2月、夢真ホールディングスからの株式譲渡により子会社に
- ファンドを通じた投資により、BBHグループの金融サービスの拡充を図ることが目的

社名	株式会社レイズキャピタルマネジメント RAISE CAPITAL MANAGEMENT Co., Ltd.
設立	2000年4月25日
資本金	2,000万円
所在地	東京都港区西新橋1-2-9
代表取締役社長	武田 大
TEL	03-5532-7844(代表)
役員・職員数	5名
業務内容	投資事業組合の運営(ベンチャーキャピタル)、その他

ありがとうございました。

IR担当窓口

株式会社BBH

執行役員 江口 航
管理本部長 齊藤 茂行

TEL :03-3348-8380
FAX :03-3348-8381
e-mail :ir@bbank.co.jp

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。